



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 3873号 2017.9.2 発行

### 国文祭・障文祭が開幕 荒井・奈良知事が開会宣言 3カ月間、多彩イベント

産経新聞 2017年9月2日

文化と芸術の祭典「第32回国民文化祭・なら2017」と「第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会」が1日、開幕した。奈良市の近鉄奈良駅前ではオープニングセレモニーが行われ、荒井正吾知事が高らかに開会を宣言をした。11月30日までの3カ月間、県内全39市町村で音楽や美術、伝統文化など計103イベントが開催される。

オープニングセレモニーでは、荒井知事が「『文化の力で奈良を元気に』の標語の元に、文化の彩りで奈良をにぎやかにしたい」と開会宣言。県マスコットキャラクターのせんたくくんが軽快なダンスを披露したり、地元幼稚園の園児らが両祭のイメージソング「やまとしうるはし」を元気に合唱したりして、会場を盛り上げた。

過去の国文祭と障文祭は開催時期をずらして行われていたが、今回奈良では初めての一体開催となる。「障害がある人もない人もともに楽しむ」ことをテーマに、展示品を視覚だけでなく、触覚や聴覚、嗅覚でも感じる体感展示や、健常者と障害者が一緒に踊る車いすダンスパフォーマンスなど、工夫を凝らしたイベントがめじる押した。

2日午後7時から、奈良市の東大寺大仏殿で開会式が行われ、皇太子さまが臨席される。伝統芸能と華やかな創作パフォーマンスによるオープニングフェスティバルを予定している。

期間中の各種イベントの詳細は、市町村役場や近鉄主要駅などで無料配布している公式ガイドブックのほか、国文祭・障文祭2017公式サイト (<http://nara-okushoubun.jp>) で閲覧できる。

### 東京) 声優・神谷明さんの自閉症の次女、3日にCD発売

朝日新聞 2017年9月2日



次女の神谷たえさん(右)の舞台をはげましつづける神谷明さん=2014年8月、本人提供

アニメ「北斗の拳」のケンシロウの声などで知られる声優神谷明さんの次女たえさん(33)の初めてのソロ



CDが3日、発売される。自閉症のたえさんが、障害の有無に関係なく、寄り添い合うことをテーマに歌い上げている。

たえさんは、幼いころから聴いたばかりのCM曲をおもちゃのピアノで弾くなど、音楽に親しんできた。都内や神奈川県などを拠点にするアートスクール「ホットジェネレーション」の一員として15歳で主演を務め、障害者と健常者が共演するミュージカルで活躍してきた。3日は品川区での公演に出演。神谷さんは「たえがミュージカルに出会えたのは幸せなこと。たえの歌を多くの人に聴いてほしい」と話している。

ミュージカルは品川区の大井町きゅりあん（区立総合区民会館）で午後2時半から（3500円）と午後6時から（3500～4千円）。演目はオリジナルのサクセスコメディ「DREAM」。CDはホットジェネレーションが自主製作。「Stars～名もなき星たち～」とのタイトルで、今回の公演の劇中歌など3曲を収録した。CDは千円で、会場販売する。チケット予約やCDの購入はメール（info@hot-generation.org）か電話（080・6747・2538）で。（青木美希）



### ひきこもり女性が「女子会」！？ 彼女たちはなぜ集まるのか

産経新聞 2017年9月1日

男性がいない場で、安心して気持ちを分かち合う＝（一部画像処理しています）（油原聡子撮影）

ひきこもりの女性たちが公民館などに集まる、「ひきこもり女子会」が注目されている。さまざまな事情から生きづらさを抱え、ひきこもるようになってしまった女性たちが、なぜこの「女子会」に足を運ぶのか。

#### うなずき、涙ぐむ女性たち

「今日も、この場に來られるか不安でした」「1回ひきこもると追い詰められることが染みついて、修正に時間がかかるんです」。

ひきこもった後にさらに抱えた苦しさ、家族との関係や将来への不安…。経験者の女性（28）が、言葉を選びながら、ゆっくりと語り始めると、会場に詰めかけた60人を超える女性たちは、うなずき、あるいは涙ぐみながら耳を傾けた。

8月24日、東京都内で開かれた「ひきこもりUX女子会」。主催したのは、ひきこもりや不登校、発達障害などの当事者や経験者で作る一般社団法人「ひきこもりUX会議」だ。

女子会に参加できるなら、ひきこもりではないのでは？ と疑問を持つ人もいるだろう。が、内閣府の調査では、「自室からほとんど出ない」「自室からは出るが、家からは出ない」のほか、「趣味の用事のときだけ外出する」「近所のコンビニなどに出かける」状態が半年以上続いている人もひきこもりと定義している。

#### 「男性がいると緊張してしまう」

体験談を聞いた後は、「仕事」や「メンタルヘルス」などのテーマに分かれ、少人数で語り合う。音楽やアニメなど趣味の分野がテーマのこともある。

途中で体調が悪くなった場合に備えて、部屋の扉は常時開かれ出入りは自由だ。室内には「非交流スペース」と呼ばれる、ホワイトボードで遮られた場所があり、苦しくなったらそこで1人になれる。

女子会に初めて参加した埼玉県の女性（21）は、いじめをきっかけに中学1年生の頃から、ひきこもりを繰り返している。

「ずっとひきこもりだと不安になる。誰かと悩みを共有したかった。けれど、男性がいると緊張してしまう」と打ち明ける。「今日は同じ悩みを抱えている人がたくさんいることが分かって安心した。参加者の年齢層も幅広くて、医師との付き合い方などいろいろな話を聞いて参考になった。1人じゃ考えが及ばないような視点を与えてもらえた」とほっとした様子だった。

可視化されていない女性のひきこもり



内閣府が昨年発表した調査によると、15～39歳のひきこもりの人は全国で推計54万1千人に上る。そのうち男性は63・3%、女性は36・7%と男性が圧倒的に多い。

だが、「ひきこもる女性たち」（ベスト新書）などの著書がある、ジャーナリストの池上正樹さんは「行政の調査では、家事や育児をしている場合は定義から外されてしまい、ひきこもりの女性の存在は可視化されていない」と指摘する。つまり、実際にはもっと多いはずだと言うのだ。

そうした中、2015年秋、UX会議は男女共同参画センター横浜南と共同で、ひきこもりの人たちを対象にメイクやファッションコーディネートを学べるイベントを開催した。4回で80人が参加したが、9割が女性だった。

その結果を受けて昨年6月、UX会議が女性に限定した女子会を初めて東京都内で開いた。その後、京都や大阪、横浜でも開いた。毎回50人前後が参加し、多いときは80人を超えた。

「女性だけで集まりたいというニーズが、これほどあるとは思いませんでした。DV（家庭内暴力）やいじめ、性被害などが原因でひきこもりになった女性は男性が苦手だったり、怖いと思ったりする。そういう女性が思ったよりも多い印象です」とUX会議の林恭子代表理事は明かす。

### 抜け出すきっかけは？

UX会議の恩田夏絵代表理事は「ひきこもりになると社会経験が欠け、人間関係をどう構築するか分からないまま孤立することになる。その結果、リハビリすらできず過酷な状況に追い込まれる例もある」と指摘する。

ジャーナリストの池上さんは「苦しいときに、死を選択をせず、命や尊厳を守るためにひきこもった。それが、ひきこもりの人たち。いつか再び社会に出たいと思っているんです」と強調する。

では、どうすれば、ひきこもりから抜け出せるのか。ひきこもりに対する支援は、行政も民間も就労や医療サポートが多い。一方、内閣府の調査でひきこもりを脱した人にきっかけを聞いたところ、次のような事例が挙がった。

- ・フリースクールに通い人間関係がうまくいくようになった
- ・アルバイトを始めて社会と関わりを持った
- ・同じような経験をしている人たちと知り合うことができた

人との交流や支援の重要性を示している。

恩田代表理事は「だから、生きづらさを抱えた女性同士が集まり、共感できる場が必要なんです。この女子会が、そのような場になれば」と願っている。（文化部 油原聡子）

ひきこもりUX会議は、9月から12月にかけて、全国10都市で「ひきこもりUX女子会」全国キャラバンを開く。参加費は300円で予約不要。性自認が女性も対象。詳しくは、UX会議のホームページ（<http://blog.livedoor.jp/uxkaigi/>）で。

### 遺体を自宅に2年間隠した疑い、女逮捕 遺体は妹か 朝日新聞 2017年9月1日

2年間にわたり大阪府門真市朝日町の自宅マンションに遺体を隠したとして、府警は1日、無職山口逸子容疑者（65）を死体遺棄容疑で逮捕し、発表した。隣の部屋に住む3歳下の妹と連絡が取れておらず、府警は遺体は妹とみて調べている。

捜査1課によると、山口容疑者は2015年7月ごろ、遺体を自宅玄関の収納ボックスに隠し、遺棄した疑いがある。容疑を認めている。遺体はポリ袋に包まれ、傷みが激しいという。

山口容疑者が8月31日に妹の行方不明者届を門真署に提出。1日に自宅に遺体があることをほのめかし、「妹は2年前、自宅で倒れて死んでいた」と説明したという。

門真市によると、妹は障害年金を受給していたが、14年から現況届が提出されなくな

った。市は8月末までに計約10回、山口容疑者に所在確認を求めたが、「親戚の所に行ったのでは」などと話したという。

## 加古川市総合福祉会館オープン 障害者の相談窓口新設 神戸新聞 2017年9月2日

兵庫県の加古川市総合福祉会館（同市加古川町寺家町）の大規模改修工事が終了し、1日にリニューアルオープンした。同館1階には、障害者やその家族の総合相談窓口「市障がい者基幹相談支援センター」を新設。東播2市2町では初めてで、事業者などと連携し、相談支援業務で同市内の中核的役割を担う組織を目指す。

同センターは、障害者自立支援法に基づき市町村などが設置する機関。加古川市は運営を市社会福祉協議会に委託し、社会福祉士や精神保健福祉士が身体、知的、精神の障害の



区別なく専門的な相談に乗る。

改修された加古川市総合福祉会館内で新設された「市障がい者基幹相談支援センター」＝同市加古川町寺家町

相談業務はこれまで市役所で対応していたが、事前予約が必要で、障害の種別で受け付ける曜日や時間が決まっていた。同センターの担当者は「予約は不要なので、いつでも相談に来てほしい」としている。

総合福祉会館は鉄筋コンクリート3階建てで、延べ床面積約3300平方メートル。

1980年の建築で老朽化が激しく、昨年9月から全面的に改修した。段差を無くすなどバリアフリー化を行い、新たに多目的トイレや授乳室も設けた。事業費は約6億5千万円。管理運営は引き続き社協が担う。

この日の記念式典で岡田康裕市長は「関係者が集い、地域の課題解決を行う拠点になれば」と話した。

同センターなどの窓口業務は平日午前8時半～午後5時15分。同市社協TEL079・424・4318（切貫滋巨）

## 留学生 介護のプロに

読売新聞 2017年09月02日

◇入管法改正受け養成校

◇篠山学園が開校

昨年3月に閉校した旧県立篠山産業高校丹南校（篠山市南矢代）の校地を活用した介護福祉士養成校「篠山学園」が1日、開校した。アジアからの留学生を受け入れ、介護分野の人手不足を補う人材の育成を目指す。外国人を対象にした養成校は国内初という。（中野真一）

入管難民法の改正で「介護」の資格を持つ外国人に在留資格が認められたのを受け、特別養護老人ホームを運営する社会福祉法人・ウエルライフ（西宮市）が設立。校地は市が県から買い取って有償貸与した。2年制（1学年80人）の全寮制女子校で、授業に加え、篠山市や川西、西宮両市の介護施設で実習を行う。

渡航費用20万円と授業料160万円（2年間）には無利子の奨学金を充て、卒業後に月5万円を返済。教科書や実習服は無償貸与される。初年度は20～37歳の27人が入学予定で、ビザ発給が間に合ったベトナムからの6人と台湾、ネパールからの各1人がこの日、開校式と入学式に臨んだ。

飯森裕行学園長が「高齢化と若者の介護職離れが進む中、留学生は一筋の光明。言葉と生活習慣、文化と専門技術を身につけるのは楽ではないが、大きく成長し、介護のプロになってほしい」と期待。平野斉副市長も「日本遺産のまちが医療・福祉でも充実すること

に感謝し、篠山市も精いっぱい支援する」と祝福した。

続いて、入学生を代表してグエン・ゴック・ユエンさん（26）が「仲間と支え合い、1期生の自覚と誇りを持って新たな歴史の1ページを開く。立派な介護福祉士を目指して日々精進します」と誓いの言葉を日本語で披露した。

授業は4日から開始。日本人も受け入れ、問い合わせは篠山学園（079・595・0033）へ。

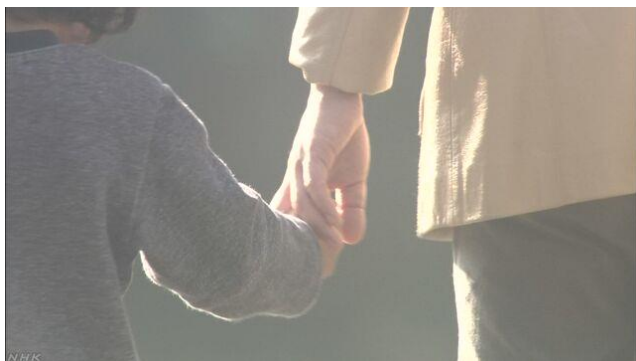
開校を受け、篠山署は同日、同校で新入学生向けに防犯・交通研修を行った。刑事生活安全課長と交通課長らが自転車の運転ルールやひったくり、わいせつ行為などの危険を説明し、護身術を手ほどきした。

## 100兆円 賄うのは私たちの税金

8月31日。東京・霞ヶ関では、毎年恒例の手続きが淡々と進められました。

来年度、どれだけの予算が必要か、各省庁ごとに財務省に要望を提出する「概算要求」です。要求総額はおよそ100兆円。それを賄うのは私たちが負担する税金。今の大人では支払いきれず借金も重ね、子どもたちにもつけ回しをしています。そうやって絞り出される100兆円。どんな政策に使う

NHK ニュース 2017年9月1日



べきでしょうか。

（経済部記者 野口佑輔）

**質問1 月額5000円 いる？ いらぬ？**

中学生までの子どもがいる家庭には児童手当が支給されています。夫婦に子ども2人で年収960万円以上の“豊かな”家庭にも、今は子ども1人に月額5000円の手当が支給されています。

予算のやり繰りを担う財務省は来年度、この5000円の手当を廃止しようとしています。あなたは賛成ですか、反対ですか？

**質問2 診療所や介護施設の報酬カットは？**

街の診療所に支払う診療報酬や、介護施設に支払う介護報酬の改定が来年度予定されています。財政がこれだけ厳しいのですから、医師にも我慢してもらい報酬を切り詰めるべきでし

うか？

過疎地では医師不足が問題になっていますし、介護人材の人手不足のために給与アップが必要とも言われていますが、どう思いますか？

### 質問3 幼稚園や保育所の無償化は？

未来を担う子どもたちのために幼稚園や保育所を無償化・実質的に負担ゼロにしようという構想があります。ただ、それには巨額の費用が必要ですので、国は増税や新たな社会保険をつくりサラリーマンや企業から費用を徴収することなども検討します。あなたは協力できますか？

#### 予算編成スタート

国の来年度予算案の編成作業は、各省庁の要求が出そろって本格的に始まります。今、挙げたような賛否が分かれる課題も含め、予算をつけるのかつけないのか。制度を作るのか作らないのか。12月下旬までのおよそ4か月、官邸、財務省、各省庁、それに与党の思惑がぶつかりあいながら着地点を探り、政府案を組み上げていきます。

概算要求は、各省庁が来年度実行したいあらゆる政策を積み上げたものです。

その総額が100兆円。今後、財務省が1つ1つ必要かどうか査定し、今年度で言えば最終的には97兆円くらいに絞り込まれていきます。

#### 予算要求から見える国の課題

ほかにはどんな政策があるのか、各省庁の主な要求を見てみます。

防衛省は北朝鮮による弾道ミサイル攻撃に対応するため過去最大の5兆2551億円の予算を要求。地上配備型でイージス艦と同様の能力がある、新型の迎撃ミサイルシステムなどの導入を検討しています。

国土交通省は全国で多発している大雨などの災害に備え、公共事業の増額を要求。今年度の当初予算より16%多い6兆238億円を要求しています。

厚生労働省は2020年度末までに待機児童をゼロにするという目標を達成するため、保育所の整備費用として1142億円を要求。来年度からの3年間で22万人分の保育の受け皿の確保を目指します。

文部科学省は経済的な理由で大学などへの進学を断念する若者を出さないよう、返済する必要がない「給付型奨学金」の制度を本格的に実施する費用として105億円を要求。今、何が課題でどういう政策が必要なのか。政府の問題意識が見えてきます。

**財政余力はすでに限界**



ただ、すべての政策を実行できるわけではありません。国の財政状況はそんな大盤ぶる舞いが許される状況では到底ありません。



今の日本の財政は巨額の借金に頼らなければ、政策を実行できない状況にあるのはご存じのとおり。今年度の当初予算を見ますと、国の歳入はおよそ97兆円。そのうち私たち現役世代が負担している「**税金**」は57兆円。全体の59%にとどまっています。借金にあたる「**国債**」に頼る分は、全体の35%。これは将来の子どもたちが返済することになります。そしてその借金は、毎年、毎年、積み上がり、現在

1000兆円を突破しています。先進国で最悪の水準です。

### 膨らみ続ける社会保障費

さらに、この先を展望すると借金頼みの状況からどうやったら抜け出すことができるのか、妙案が見当たりません。最大の理由が**社会保障**です。今年度は32兆円。国の予算の実に3分の1を占めています。しかも2025年には、いわゆる“**団塊の世代**”の人た



ちすべてが75歳以上の高齢者となります。医療費や介護費が加速度的に膨らんでいくのが見えています。

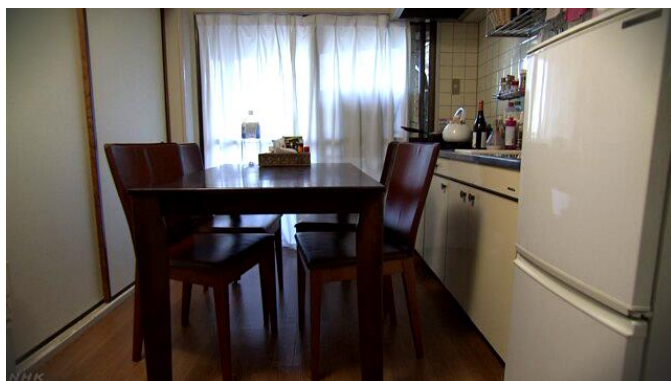
では、それを見据えてどう対応していくのか。来年度の予算編成作業では、冒頭に挙げた児童手当の廃止や、診療報酬、介護報酬の引き下げ、新たな税や社会保険の導入などが検討されているのです。

こうした案に賛成する人もいますが、当然、厳しい反発も予想されます。あちらを立てればこちらが立たずという状況です。バランスを取りながら最善の“**落としどころ**”を見つけるせめぎあい

が、このあと年末まで続くこととなります。

### 問われる財政再建の取り組み

私たちの“暮らし”を維持するために膨大な予算が必要なのは明らかです。各省庁がどうしても必要だと要求して積み上がったのが今回の100兆円です。しかし、積み上がる一方の借金を見ていると、今のまま財政のやりくりを続けることができるのか、厳しい見通しを示す専門家も次第に増えています。



日本の財政状況をすぐに好転させる特効薬が見当たらないからこそ、地道な財政再建の積

み重ねが問われています。これから年末までの4か月間の予算編成作業を、きっちりと取材していきたいと思います。



### 老朽物件、精神障害者の生活支える 病院が紹介のケースも 秋田魁新報 2017年9月2日 アパートなどを全焼し、5人が死亡した火災現場＝23日午前、横手市南町

8月22日に5人が死亡する火災のあった秋田県横手市のアパートは、住人の7割が精神障害者や精神科病院への通院歴のある人たちだった。国は精神疾患で入院する人たちの地域生活への移行を進めているが、その現場では、住まいの一端を老朽化した低家賃のアパートが支えている現実がある。秋田市郊外にある木造2階建てアパートでは現在、精神科に通院する男女計2人が暮らしている。大家の男性（72）によると、アパートは築45年前後で、家賃は約2万円。30年ほど前に近隣の病院から頼まれて障害者を受け入れて以来、常時数人が居住する。「精神障害のある人を住ませたくないという大家も多いみたいだが、うちはあまり気にしていない。空き部屋のままにしていたら収入にならないから」

### 障害者が働く場所、買収で守った 福井の企業、収益改善に自信



福井新聞 2017年9月2日  
運営継続が決まった「ありがとう福井」と社長に就いた木下寿志さん（右）ら＝1日、福井県坂井市三国町三国東3丁目

経営難で廃業の方針だった福井県坂井市の就労事業所が、福井市の企業に1日買収され、運営の継続が決まった。企業は生産管理が本業で収益改善に自信を示し、雇用されている障害者11人は引き続き働けることになった。就労事業所が廃業し障害者が大量解雇されるケースが全国で問題となる中、利用者からは「とにかくうれしい」と喜びの声が上がっている。

運営継続となったのは、就労継続支援A型事業所の「ありがとう福井」（坂井市三国町三国東3丁目）。工場内の生産管理のトータルサポートを手掛けるアセアンテクノロジー（福井市新田塚1丁目、中山浩行社長）が前の運営会社から全株式を取得し、完全子会社化した。

A型事業所は障害者と雇用契約を結び、最低賃金以上を支払って、軽作業などの職業訓練をする。ありがとう福井では現在、11人の障害者が働いており、サービス管理責任者ら2人の職員とともに、全員の雇用が引き継がれた。

ありがとう福井は坂井市三国町で唯一のA型事業所だが、経営が厳しく、今春ごろ廃業の方針が固まっていた。ガス、化学など各種プラントの設計施工を手掛けるナカテック（坂井市春江町藤鷲塚）の関連会社のアセアン社が聞きつけ、買収に名乗りを上げた。交渉の末に1日、譲渡契約を結び、実行された。

アセアン社の木下寿志さんは買収の理由を「これまでに福祉施設に業務を委託した経験から、障害者の可能性を感じていたし、活躍するステージを増やしたいという思いがあった」と説明した。福井県内は有効求人倍率が全国1位で人手不足が問題となる中、同社が女性や高齢者を含め多様な人材の活用を目指していたことも後押しした。



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行